感動いっぱい　夢いっぱい

平成29年6月29日　No. 10

土曜参観日　6月２４日（土）

授業参観・親子ドッジボール大会・教育講演会へのご参加ありがとうございました。

１年生は入学して２ヶ月半。４月はやや緊張していた１年生も，すっかり**「１年生の顔」**になりました。成長を感じていただけましたでしょうか。

子どもは，高校生になると親から離れ自立します。自立させます。そう考えると，６年生の保護者にとっては，親の内にいるのもあと３年９ヶ月です。親子でドッジボールのような遊びができるのも，今回が最後になるでしょう。うれしいやら，さみしいやら。

教育講演会では，山口衛里先生にお話をいただきました。マラソンでの活躍を知っている私は，シドニーオリンピックの事などについて聞きたかったのですが，高学年の子ども達も参加するということで，「夢をもつこと」や「目標の具体的なもちかた」等，教育的な観点からの話を，たくさん内容に盛り込んでくださいました。

大人なら，仕事上でも生活上でも必要感から，わりとできているのですが（目標倒れになることもありますが），子どもは，必要感や**目的意識**のもちにくさから，なかなかできにくいものです。（中学校からは意識できてきます。部活での試合にむけての練習や，受験勉強があるからです。）

さあ，今から。**「最大の目標（夢）」**にむけて，**「今日の目標」→「今週の目標」→・・・**と意識して欲しいです。**結果ではなく過程が大切。**もっと言うなら，「今週の目標」を，紙に書く・頭で考えるだけでも，進歩できる自分につながります。

（５年生の感想）

- マラソン選手の，山口衛里さんの話を聞きました。山口さんは，小学生の頃は，バレーボールが好きだったそうです。陸上では，短距離は好きだったけど，長距離は苦手だったようです。しかし，卒業の時にマラソンのことについて書きました。それが，オリンピックにつながっていったのだと話されました。
  今は，選手ではないけど，大学でコーチとして，選手を育てています。そのときに，いつも「何事もあきらめてはいけない。」ということを教えられるそうです。　（A・S）
- 山口さんの話を聞いて，特にためになったことがあります。
  それは，苦手なことでも努力すれば，１番になれることです。山口さんは，小学校３年生の時まで，長距離を走るのが苦手だったそうです。でも，お父さんとマラソンに出たことをきっかけに，すごく練習をして，何とか優勝をしたそうです。
  ぼくも，苦手なことがあるけど，山口さんのように努力して，一番になれるようにしたいです。（M・Y）

将来の柳井原地区について：内藤さんをお招きして　6月２２日（木）

「小田川の合流点付け替え事業」については，ご存じだと思います。洪水対策事業で，今後１０年近くかかる大事業です。その工事について，将来の柳井原を担う子ども達に，ぜひ学んで欲しいと思い，福祉協議会の内藤さんにお願いしてお話をしていただきました。昨年度は卒業生に，今回は高学年です。たくさんの資料を用意してくださり，また子ども達のためにレジュメまでつくってくださいました。

お話の内容は，

（１）高梁川の歴史・・・高瀬舟　度重なる大洪水　柳井原貯水池の築造
（２）工事について
　①目的
　②自然環境への配慮
　③歴史的遺産物の調査
（３）柳井原地区の将来
　・新しい耕作地・道路の整備　公園の活用案

希少生物の「アサザ」

貯水池には「アサザ」という植物が生育しています。工事で，希少生物の「アサザ」が絶滅しないように，アサザ保全池というのを整備します。また，小田川の拡幅のために，南山城が堀削・除去されます。そのため，工事の前に，発掘調査をします。新しい耕作地も整備します。

子ども達に知って欲しいのは，工事の目的は洪水対策・住民の安全確保なのですが，と同時に希少生物の「アサザ」を保護したり，歴史的なものを調べ直したり，新しい耕作地をつくったりする事業も，大切に計画に組み込んでいる点です。内藤さんは，その点をとてもていねいに説明してくださいました。安全な柳井原・自然いっぱいの柳井原・便利な柳井原・未来に向かう柳井原。その，**未来を創っていくのは子ども達**です。

くらしき作陽大学生による食育指導について　6月２２日（木）

小大連携の一つとして，くらしき作陽大学・食文学部の学生が，食育指導をしています。児童の健康教育の充実を図るためです。今年度も**６回**計画しています。

１回目は「梅雨に隠された梅のひみつ」のめあてで学習しました。「梅雨」という言葉に「梅」という字が入っているのは？青い梅は食べてもいいの？等，わかりやすく教えてくださいました。次回は「七夕～そうめんを食べる理由～」の内容です。色々なお話を聞けるのを，とても楽しみにしています。よろしくお願いします。

校内読書週間　6月２６日（月）～３０日（金）

H27年度　１２６冊（６８冊）　　H28年度　１１８冊（７１冊）

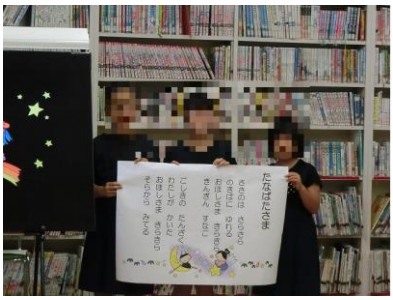
「この数字は？」　本校の児童が，**１年間で借りた本の平均**です。（　）は，市の平均です。本校の児童の貸し出し数が多いのがわかります。「同じ種類だけでなく，いろんな種類の本も読んで欲しいな」そんな声も聞こえてきそうですが，図書館に足を運び，本をたくさん借りているのは，確かなことです。喜ばしいことです。

「読書を通して，豊かな心を育成する」　本校では，朝読書や先生の読み聞かせ，毎月の図書館だよりでの新しい本の紹介等，読書好きの子どもになるように，色々な取り組みをしています。本との出会いを大切にしたいと思っています。

今週は，**読書週間**でした。読書集会があり，好きな本を紹介する内容のテレビ放送があり，この週ならではのポイントサービスがあり，読書に関係したたくさんの催し物がありました。

読書集会の様子です。子どもが考えたアイディアがつまった楽しい集会になりました。図書委員会のみなさんも，よく練習をしました。

*「ブラックライトパネルシアター」*です。部屋を暗くし，ブラックライトをあてると，ビックリ！画面が浮かびあがります。七夕の織り姫と彦星です。



*「たなばたさま」の歌*を歌いました。

*「宝探しゲーム」*探している本の中には，**「金メダル」**が入っています。

読書 100 パーセント登場です。
図書委員会は全てに大活躍！